



# 夏の思い出

2019

## ☆ 子育て支援サポーター

- ・ NPO 法人 地域家族しんちゃんハウス
- ・ 子育てほっとサロン「たんぽぽ」



## ☆ 環境保全サポーター

- ・ 引地川水とみどりの会 (講座+川清掃)

## ☆ 国際交流支援サポーター

- ・ WE21 ジャパン大和
- ・ やまと国際フレンドクラブ (IFC)

## ☆ 高齢者支援サポーター

- ・ ハッピー鶴間
- ・ ゆらり倶楽部大和
- ・ げ・ん・き
- ・ 季の家

## ☆ 障がい者支援サポーター

- ・ サウンドテーブルテニスクラブ



# 令和元年度 社会資源の創出・発信事業 (中高生夏のボランティア体験)

## 1. ねらい

中高生が持つ時間、知恵、技術を出し合い社会に開けば  
それはみんなのもの「社会資源」になります。

市民の課題解決に中高生が関わる社会参加の  
第一歩として実施します。

また、学校の先生や家族以外の「おとな」と親交を持ち  
社会との関わり合いの多様性を認識することを  
ねらいとしています。

## 2. 対 象

市内在住在学または近隣の市町村の中学生・高校生

### 3. 協力団体（あいうえお順）

- ・ NPO 法人 WE21 ジャパン大和
- ・ デイサービス げ・ん・き
- ・ サウンドテーブルテニスクラブ
- ・ 子育てほっとサロン「たんぽぽ」
- ・ NPO 法人 地域家族しんちゃんハウス
- ・ デイサービス 季の家
- ・ デイサービス ハッピー鶴間
- ・ 引地川水とみどりの会
- ・ やまと国際フレンドクラブ（IFC）
- ・ デイサービス ゆらり倶楽部大和

### 4. 参加人数（のべ）31名

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ・ サウンドテーブルテニスクラブ      | 4名（高校生4名）           |
| ・ 子育てほっとサロン「たんぽぽ」     | 1名（高校生1名）           |
| ・ NPO 法人 地域家族しんちゃんハウス | 4名（高校生4名）           |
| ・ デイサービス ハッピー鶴間       | 2名（高校生1名、<br>中学生1名） |
| ・ 引地川水とみどりの会          | 7名（高校生7名）           |
| ・ やまと国際フレンドクラブ        | 10名（高校生10名）         |
| ・ デイサービスゆらり倶楽部大和      | 3名（高校生3名）           |

#### 〈内訳〉

オリエンテーション参加希望者	15名
オリエンテーション参加者	7名
オリエンテーション終了後の参加希望者	9名

## 5. 活動の概要

日 時	場 所	プログラム
7月22日(月) 14:00~16:00	大和市民活動センター (ベテルギウス2階会議室)	事前説明会 受入れ団体の方々からの説明 ・NPO法人 地域家族しんちゃんハウス ・やまと国際フレンドクラブ(IFC) 長谷部美由紀さん ・引地川水とみどりの会 五味尚生さん ・子育てほっとサロン「たんぽぽ」 ・デイサービスゆらり倶楽部大和 松下 詳さん ・デイサービスハッピー鶴間 ・デイサービス げ・ん・き 江畑洋子さん
7月24日(水) ~8月30日(金)	NPO法人 WE21 ジャパン大和 (店舗)	店舗で提供品の整理や接客を行いながら アジア支援活動について学びます。
7月26日(金) 29日(月) 30日(火) 31日(水)	やまと国際フレンドクラブ (IFC) (保健福祉センター)	「学べる」：外国にルーツを持つ子ども たちの為の教室。 夏休みの宿題、日頃の学習のわからないところ を一緒に勉強したり教えたりします。
7月27日(土) 8月24日(土)	引地川水とみどりの会	大和市の環境について学び「引地川水とみど りの会」のみなさんと一緒に引地川の川掃除 をします。(講座&川清掃)
8月5日(月) 19日(月)	NPO法人 地域家族しんちゃんハウス	「しんちゃんハウス」の子どもたちと遊びの 中で交流します。
8月8日(木) 22日(木)	子育てほっとサロン 「たんぽぽ」	赤ちゃんや幼児と遊びの中で触れ合います。
8月5日(月) 26日(月)	サウンドテーブルテニスク ラブ(保健福祉センター)	視覚障害を持つ皆さんとサウンドテーブル テニスを通して交流します。
7月24日(水)~ 8月30日(金)	(デイサービス) ハッピー鶴間 げ・ん・き ゆらり倶楽部大和 季の家	デイサービスでお年寄りの方々とゲームな どを通して交流を図ります。

# デイサービスハッピー鶴間

7月24日(火)・8月9日(金)

## ●中学1年生 女子

私はこのデイサービスにはたまには来ていたので、利用者様やスタッフの人たちの顔もだいたい知っていて、デイサービスのことはわりと知っている方だと思っていました。けれど、ボランティアをやってみたら今までの考えていたことより、とてもたいへんそうでした。たとえば、おふろにいれたり、血圧を測ったり、トイレに行くまでに手をかしてあげたり、私たちがきずかない所などいろんなことをしていたんだと、ボランティアをして思いました。

## ●高校2年生 男子

高齢者の方々がとても楽しそうだったところが心に残っている。それを実現するために職員の方や介護士の方がいろいろ考えたことがよく伝わってきた。また、介護士さんたちの高齢者の方々への細かな気遣いはさすがだった。よく、高齢者の方が、若い人がいると元気が出るというのを聞くが、僕はその逆を感じた。高齢者の方々のほほえましい笑顔はこちらまで楽しい気持ちになってくる。そんな笑顔を作り出せるこの仕事はカッコイイなと思った。僕はまだ自分の進路を決めかねているが、介護士もいいなと思った。



# 引地川水とみどりの会

講座 7月27日(土)・川清掃 8月24日(土)

## ●高校3年生 男子

- ・川には色々なゴミがあり、そんな物まで落ちているのと思いました。それを自分たちで綺麗に出来たのは良かったです。
- ・小さいゴミから大きなゴミまで、色々なところにゴミが落ちているか周りを見て行動するのが大変だった。

## ●高校3年生 男子

足場が悪くて川が流れている中で作業するのはとても大変でした。しかし、とても良い経験ができました。機会があればまた参加させていただきます。

## ●高校2年生 男子

自分が最初に想像していたよりごみが少なかったのは、ちょっと安心したけど、それでもまだ大きい袋3つ分はあったからちゃんと自然と向き合うきっかけになったと思う。大変だったけど、いろんな生き物もいたし、割と楽しかった。またいつでも来てくださいと言われたので、次も行ってみたい。



# やまと国際フレンドクラブ

7月29日(月)・7月30日(火)・7月31日(水)

## ●高校1年生 女子

7/29 Mission: 新しい気づきを見つけよう!

小1の子だから、集中力が切れちゃうかなと思っていたけれど、2時間とも集中してくれたので良かったです。「は」と「わ」の違いや「お」と「を」の違いを教えるのがとても難しかったです。

7/30 Mission: ボランティアの意義って何?

教えるだけじゃなく、子どもたちから学ぶことも多く、とてもいい経験になりました。2日目と言うこともあって、よく話してくれたのでうれしかったです。

7/31 Mission: 今、私にできることは?

今自分が持っている知識を、小学生の子たちに分かりやすく教えられるように工夫出来たと思う。今回、この3日間、とてもとても充実できたので、他にも色々なボランティアに参加して沢山の経験をしたい。

## ●自分がこのボランティアで学んだこと

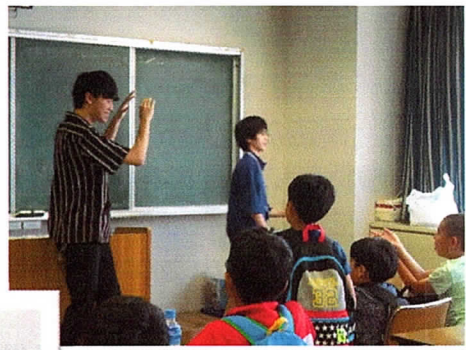
普段、小学生の事関わる機会はないけれど、今回の体験を通して小さい子とコミュニケーションをとることが学べた。ボランティアで人に教えるだけでなく、自分もたくさん学ぶことができた。

## ●将来に向けて自分が実践したいこと

自分がこの3日間で得られたことを今後にかしていきたい。  
様々なボランティアに参加し、たくさんの経験をしたい。

## ●感想

小学生の子たちに勉強を理解してもらえるように分かりやすく教えるのがとても大変でした。3日間を通して子供たちもすごく慣れてくれて、とても充実した3日間でした。また機会があれば、このボランティアに参加したいと思います。



●高校2年生 女子

7/29 Mission: 新しい気づきを見つけよう!

分からない所を教えるのはもちろん、できることをほめてのばすことが自信につながるのだと気づきました。

学年が自分と離れているから、どこからが分かるかとかの感覚をつかむのが大変でした。→ 絵などで説明、ダラダラやらないで目標を決めてメリハリをつけるひらがなは分かるけれど、カタカナが分からなかったので、国語を教える時に一緒に練習して教えました。

☆横に座るより、前にすわってちょこちょこ見えるように座るといい

7/30 Mission: ボランティアの意義って何?

ボランティアは誰かに言われてやるものではなく、自分の意志で自主的にやるのが大切だと思いました。ボランティアって誰かのためにやるものだと思うので思いやりの心をもって取り組むことに意味があるのだと気づきました。

また、ボランティアを通して自分の生きがいや存在意義を見つけられ、自分を見つめ直すきっかけにもなるのかなと思いました。最近進路のことで悩んで、自分ってなんでこんなにダメなんだろうって思っていたけど、こんな私でもできることがあるんだと自信につながりました。

7/31 Mission: 今、私にできることは?

何事も挑戦してみる。一歩踏み出す勇気。

今回このボランティアに応募していなかったら得られなかった経験もあると思うし、自分を見つめ直す良いきっかけになった。

教えるとき、すぐに否定するのではなく、ほめて自信をつけさせるのも大切  
自分から動けないような内気な子にもちゃんと気を配って声を掛けることが大事

●自分がこのボランティアで学んだこと

何事も挑戦すること

思いやりをもって接すること (うわべだけじゃなくて心の底からそう思える人がいい)

喜ぶときは一緒になって喜ぶこと (感情を共有してあげることが大切)

否定から入るんじゃなくてほめてあげることが大切

●将来に向けて自分が実践したいこと

このようなボランティアに参加して多くの経験を積むこと。

日常でも小さなボランティアからどんどん挑戦して、ボランティア精神を持つこと。

●感想

外国にルーツをもつ子供たちに教えるっていうのがすごく良い経験になりました。

はじめは、どこまで子どもたちは分かっているのかというラインが分からなくて苦戦しました。子供たちには元気な子や少し内気な子さまざまで、ちゃんと周りを見て声をかけて気にかけることが大切だなとあらためて感じました。

またこのようなボランティアに参加したいです。



●高校3年生 男子

7/31 Mission: 今、私にできることは？

今回のキカイのようなボランティアがあったら積極的にしていこうと思います。将来学校の先生になった時絶対に役に立つと思います。今、僕はもっと教え方などべんきょうしていこうと思います。貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。

・自分がこのボランティアで学んだこと

子どもたちとの接し方。教えることの楽しさと難しさ。子どもたちのパワー。

・将来に向けて自分が実践したいこと

先生になった時に役立てたい

→教え方のべんきょう、子供達の集中力の使い方、じかんはいびんを考えるもっと子どもとふれあえるボランティアをしたいと思います。

●感想

・小学生に関わる機会はそう多いものではないので すごく貴重な体験ができて とても有意義な時間になりました。またありましたらボランティアをしたいと思います。

・思っていた何倍も元気な子たちで大変だったけれど仲良くなれて楽しかったです。

●高校2年生 女子

7/29 Mission: 新しい気づきを見つけよう！

・みんなたのしくて元気だった。算数の文章題が難しいって感じがした。

はなしていて問題の意味がわかっていなかった

・一度にしゃべるからすごく対応が大変で日本語になれていない部分があった。

・最初よりかはみんなうちとけて、同じ机にいた子同士まで仲良くなっていた。

7/30 Mission: ボランティアの意義って何？

・みんなのお手伝いができて、とても楽しかったし、嬉しかった。

・みんなも学ぶことができたし、自分も色々なことが学べ、ものになった。

・困っている人を助けたり、人の役に立ったり一緒に考えて解決することだと思いました。



# サウンドテーブルテニス

8月5日(月)・8月26日(月)

## ●高校2年生 女子

今回のボランティア活動をして、視覚障害者と初めて話したりして、今まで思っていたイメージとは全くちがってびっくりしました。もっと暗いイメージだと思っていたのですが、みなさんととても元気で、表情も豊かで「こんなに明るいな」とびっくりしました。障害者の方と初めて接してよかったと思ったことは自分のイメージとは全く違う一面を知れたこと、こういう面白いスポーツの発見などができたことです。大変だったことは、今まで人の話を聴いているとき相手の顔を見てうなずいていたのですが、やっぱり視覚がないと伝わらないものなので、そこがいつもと違ってもう少し大きい声でしゃべれば良かったなとか相づちを入れるべきだったかなと後悔しています。でも、視覚障害者にあつたときにすべき行動とか丁寧に教えてくださってとてもためになりました。

サウンドテーブルテニスでもみなさん自然と私たちを受け入れて下さったり、目隠ししての練習とかもさせてくれて、とてもあたたかいところだなーと思いました。もし、駅や道でこまっている視覚障害者がいたら教えて下さったとおり、勇気を出して話しかけてみたいなと思いました。

## ●高校2年生 男子

僕が今回一番驚いたことは選手のみなさんのレベルの高さでした。まるでボールが見えているかのように速い反応とそこからくり出される強力なショットは晴眼者でも遅れを取るレベルでした。僕もアイマスクつけて体験させてもらったのですが、まともにラケットにすらあたらず、皆さんのすごさを感じるばかりでした。

また、休憩時間のお話がとても印象的でした。視覚障害者の方々は一人で外を歩くときはとても緊張しているので、そんな時に晴眼者が助けてくれるのは、とてもうれしいそうです。でも、急に話し掛けると驚いてしまうので、話し掛ける時は肩を叩いてほしいということでした。僕は人と話すのがあまり得意ではないので、今まで少しためらってしまっていたのですが、これからは積極的に声をかけようと思います。他の人もそれをしてくれれば僕もうれしいです。

## ●高校2年生 男子

目が見えないと声と耳だけの情報で生活しなければいけないから大変だし、誰がどこにいるかもわからないからいつも不安なんだろうなと思いました。これからは駅などで視覚障害者を見かけたら積極的に声をかけたいと思います。



# NPO 法人 地域家族しんちゃんハウス

8月5日(月)・8月19日(月)

●高校2年生 女子

## 1日目

小学生と遊ぶのは久しぶりで、何をしようかに行く前からいろいろ考えていて少し緊張気味でした。しかし、私の心配とは裏腹に、体育館に行った瞬間子どもたちが「かけっこしよう!」と集まってきてくれました。その事がとても嬉しく、私の緊張もほぐれました。みんなと一緒に走り回ったり、ボール遊びをしたりするなど、年齢が近いからこそできるような遊びをしました。その中で私は、遊びを通じて小学生の時に面白かったことを思い出しながら遊びを考えることで、子どもたちと楽しく接することが出来たと思います。

休憩の時、何人かの子どもたちから「ゼリー1個あげる!」と声をかけられました。私はその時、子どもたちの素直な気持ちや優しさに胸がいっぱいになりました。その後、ありがたいことに私達にまでゼリーを頂き、子どもたちと楽しくたべたことはとても良い思い出になりました。

## 2日目

1日目よりも時間が経つのがとても早く感じられました。

1日目に遊んだ子どもたちも何人かいて、「久しぶり!」と言ってもらえてとても嬉しかったのを覚えています。

人見知りな子と最初はうまく関わる事ができなかつたのですが、何回か話しかけていくうちにその子の方から遊びに誘ってくれるようになり、とても嬉しかったです。

帰り際に「次はいつ来るの?」と聞かれ、楽しんでもらったことに対する喜びと、ボランティア終了の寂しさが一気にこみあげてきました。私は一人の男の子と途中まで帰ったのですが、別れ道に入り、ふと振り返ると後ろ向きに歩きながらずっと手を振ってくれていました。涙が出そうになりました。出ていたかも知れません(笑)

いろいろな性格の子どもたちがいてとても楽しかったです。

2日間お世話になりました。



●高校2年生 女子

8月5日（月）

今回しんちゃんハウスでボランティア体験をさせて貰い色々な経験や様々なことを学ぶことができました。今回が初めてのボランティア体験だったことや小さい子とあんまり触れていなかったのもあり、とても緊張していましたが先生方はもちろん、子供たちも温かく迎え入れて下さり、とても居心地の良い所でした。今回、ボランティアに向けて事前に考えてきた目標というのが、様々な個性と接し自分のコミュニケーション力をつけ、楽しい時間を過ごすことと、もし1人で遊ぶ時間が多い子などがいたら、その子にとっても自分にとっても楽しい時間にしていきたいなと思っていました。

しかし、実際ボランティアをしてみると、目標の1つ目のコミュニケーション力と色々な個性と接するという目標は達成出来たのですが、もう一つの方は、人懐っこい子が沢山いたなか、人見知りで1人で遊んでいる子もいて、その子たちと代わるがわる遊んでしまった結果、やっぱりみんなで遊ぶということが苦手な子もいて結局一人で遊びにいつってしまうということがあったので、次回行かせてもらうときは難しいかもしれませんがそういうことのないようにしたいと思いました。流石に自分から話しかけておいて最後には結局その子が一人になってしまうのは避けたいので、次回はみんなで楽しく遊べるものを考えたいと思いました。

そして、しんちゃんハウスの子たちと接している時に気づいた事は、みんな言いたい事をはっきり言えていたり、ルールをしっかり守り、間違っていることをしっかり指摘できていて、とても凄いなと思いました。私ぐらいの年齢になるとやっぱり遠慮してしまったり、言いたいことがあっても言えない場面がでてきたりしていて、これからは是非見習いたいなと思いました。今回しんちゃんハウスでは色々な事を学べた上、とても楽しい時間をすごせて、次また行けるのが楽しみで仕方ないです。



8月19日（月）

今回は前回の経験をいかして、目標は前回と変わらず、様々な個性と関わってコミュニケーション能力の向上と前回達成できなかった課題を達成しようと思いました。最初は2週間ぶりというのもあり、前、仲良くしてた子たちに忘れられてしまったかなと不安があったのですが、そんなことは全然なく前回より色々な子があいさつや話にきてくれて、とても嬉しかったです。体育館でも前回と同じく遊ぶ子は同じといっても過言ではないですが、前は二人っきりで遊んでいた子が多かったのですが、今回私がその子たちにUNOなどをみんなで遊ばないと言ってみたところ、最初は嫌がる面もありましたが、最終的に私自身はもちろんその子たちも楽しめたと思います。そして今まで話していなかった子とも仲良くなれたりして、自分も上達できているのかなと思う場面も多くあり、前回より充実した1日を過ごせた気がしました。そして今回改めてしんちゃんハウスの子たちはいい子ばかりだなと思いました。

例えば、けんかがなかったり、私がおやつのお時間におやつをもらっていないのを見て心配してくれたりしたのを見てとても感心しました。他には、1,2年生なのに足が速い子もいて、追いつかれそうで私自身本気で楽しめました。そして、体育館からしんちゃんハウスに帰ってきたとき、前は棒立ちでどうしようか迷って何もできずに日記を書く時間がきてしまったのですが、今回は自分から積極的にレゴで豪華な家をつくる対決をしない？って言ってみたところ最初は少人数でしたが、最終的に勝負には負けてしまったのですが、人数もふえていて私自身もみんなも楽しそうだったので、自分から話を持ちかけて良かったなと思いました。そして改めてしんちゃんハウスという施設やシステムがすてきでいいなと思いました。今回や前回のボランティア経験では、いた時間は短かったのですが、とてもいい思い出になりました。ボランティアを受け入れてくれたしんちゃんハウスの方々にとっても感謝しています。ありがとうございました。

# 子育てほっとサロン「たんぽぽ」

8月8日(木)

## ●高校2年生 男子

私はすぐに子供達と打ち解けられると思いながらボランティア活動を開始したのですが、意外と打ち解けるのが難しいと思いました。スタッフさんが子供達との意思疎通がとても上手だと思いました。初めは全然子供達と打ち解けられなかった私ですがスタッフさんの言動や行動を見てだんだん意思疎通がとれるようになりました。一緒にブロックで建造物を作成したり、折り紙を折ったりしていたら、だんだん時間終了が近づいてきて、私がコツソリ折っておいた千羽鶴(ここでは羽が千本生えているイメージ)を子供に見せたら、この日一番の笑顔を見せて喜んでもらってとても嬉しかったです。絵本を朗読した時にスタッフと保護者の皆様から絶賛だったので内心ほっとしました。

スタッフの方達から私にアドバイスをいただき色々とよくしてもらったので感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



# ゆらり倶楽部大和

8月13日(火)・8月27日(火)

## ●高校2年生 女子

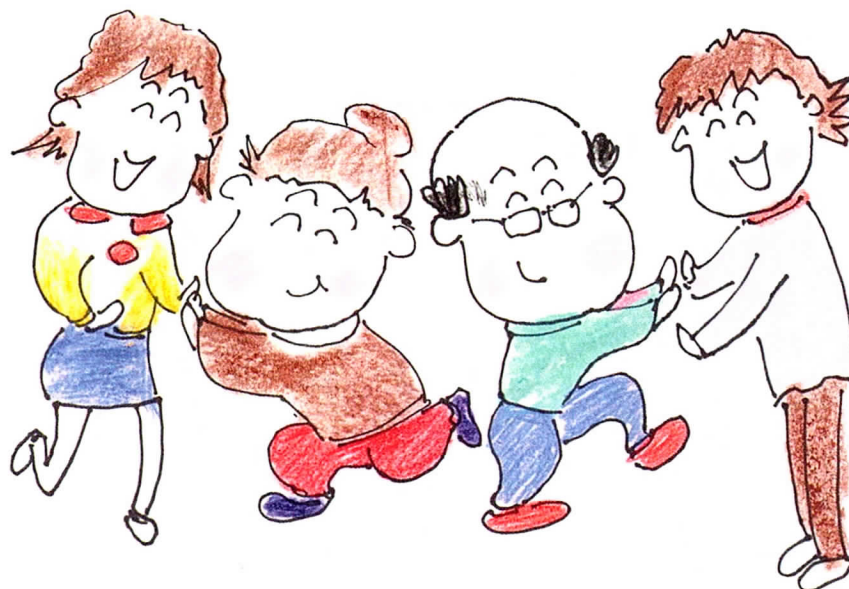
日常で高齢者の方と接する機会はありませんので、どのようにしたらいいのかわかりにくく不安でした。でも職場の方もおじいちゃん、おばあちゃんもみなさん優しく面白くて3時間のボランティアがあったという間でした。おじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で子供やお孫さんの話をしてくれて、最後に聞いてくれてありがとうと言ってもらえて嬉しくなりました。このボランティアに参加してよかったです。

## ●高校2年生 女子

初めて、ボランティアで高齢者の方と関わらせていただいて、みなさんとても優しく迎え入れてくださり、とても楽しく活動させていただきました。沢山の方とお話しができ、お世話をする方の作業も近くで見ることができてとても勉強になり、心に残る体験ができてよかったです。

このボランティアをしてみて、沢山の方の笑顔を見ることができて、将来こういう職業も視野に入れようと考えられるようになりました。

とても貴重な体験ありがとうございました。



## 中高生夏のボランティア体験「このゆびとまれ！」を終えて

中高生夏のボランティア体験「このゆびとまれ！」が無事に終了いたしました。  
ご多忙にかかわらず生徒たちのボランティア体験の為に協力をお賜りしました団体の皆さま方に心から感謝し御礼申し上げます。  
今年度は例年に比べ参加人数が減少し、せっかく頂戴した機会を活かしきれなかったのはこちらの至らなさであり、大変申し訳なく心よりお詫び申し上げます。

人数は多くありませんでしたが、参加した生徒たちは部活動、塾、アルバイトなどで夏休みの毎日  
を忙しく過ごしている生徒が殆どでした。その中の何人かはスケジュール帳を開けて見せてくれましたが、一日を通して空いている日は僅か。それでも「ここでボランティアをしてみたいです。この日とこの日にしか行けません、何とかありませんか？」と私に聞いてくるのです。  
その熱い想いが伝わり、団体の方に無理を申し上げて受け入れていただいたこともありました。

生徒たちとは一緒に施設に向かう道すがら、または帰り道に色々な話をしました。  
ボランティア先に向かう時は不安と期待が入り混じった気持ちを、帰り道では初めてのボランティア体験を丸ごと受け止めて少し高揚している気持ちや次に向けての課題点について。  
または学校、部活動のこと、家族のこと、将来のことなど、全ての生徒とではありませんが沢山話をしました。とても素直で気持ちの優しい子ばかりでした。

願わくば、これからの人生にこの体験を活かして欲しいと思います。  
彼らの普段の生活はこの夏に出会った視覚障害を持つ方、高齢の方、赤ちゃんや幼児、小学生などと交流を持つ機会は多くないと思います。けれど、今回の体験で視野が広くなり、これから日常生活の中で目にする風景に変化があるかも知れません。  
初めて体験したことが将来の職業に繋がる可能性もあります。  
また、ボランティアに対する意識が変わり、これまでより一歩踏み出しやすくなったかも知れません。そんな彼らに期待しています。

そして、この夏の体験（若者たちに出会えたこと）によって私自身にも未来への意識に変化がありました。お力添えいただいたおかげで貴重な体験をさせていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和元年 10 月

大和市民活動センター 辺見弥生



発行：大和市民活動センター 「拠点やまと」  
〒242-0018 神奈川県大和市深見西1-2-17  
Tel : 046-260-2586  
Fax : 046-205-5788  
E-mail : [yamato@ar.wakwak.com](mailto:yamato@ar.wakwak.com)

大和市民活動センターは  
「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に  
基づいて設置され、運営は「拠点やまと」が担っています。